



【エキナセア ムラサキバレンギク】

キク科 ムラサキバレンギク属
原産地 北アメリカ
開花期 6月～8月
花色 黄色 赤 ピンク オレンジ 白 緑
草丈 30～100cm



くっきりとした花形で夏の暑い時期にも空に向かってピンと立つその姿は、花壇の中でも一際存在感の有る姿、それがエキナセアです。花の中心部がイガグリのように球状に大きく盛り上がり、そのまわりに細長い花弁が放射状に広がっています。エキナセアの名前は、ギリシャ語でハリネズミを意味する「echinos」が由来です。咲き進むにつれて花芯が盛り上がり、舌状の細長い花弁が下向きに反り返る姿が独特で、徐々に変化していく花色や花姿を楽しむのも魅力的です。古くは薬草として用いられ、北アメリカ先住民の間では、やけど、虫刺されのどの炎症、歯痛、腹痛、傷などの治療目的で幅広く利用されたことから「インディアンのハーブ」とも呼ばれています。現在でもヨーロッパでは伝統的的植物性医薬品指令に基づいて製剤に使用されているほか欧米を中心にハーブティーとしても愛飲されています。ただ、園芸店などで流通しているエキナセアのほとんどは観賞用で飲食には向かないとされています。もしハーブとして使用したい場合は、ハーブショップなどで食用として販売されている物をお勧めします。

エキナセアは6月頃から咲き始め、秋になり気温がさがってくると花が終わります。そして、冬には地上部は枯れてしましますが地中には根っこが残って冬を越し、次の花の時期が来るとまた芽を出す宿根草です。

エキナセアは“水はけのよい土”を好みますので、地植えの場合は水はけの悪い場所を避けて、赤玉土4・腐葉土3くらいの割合で庭土に混ぜたり、市販の培養土を混ぜてもよいでしょう。

また、鉢植えの場合は、一般的な草花用の培養土でも問題ありませんが、より水はけの良さ意識するなら赤玉土4・鹿沼土3・腐葉土3の割合で配合するのがお勧めです。エキナセアはほとんど肥料を必要としませんが、植え付けの際に緩効性肥料を少しだけ入れておくと生育が良くなります。開花前の5月～6月と花が終わる9月～10月に緩効性肥料を1回または液肥を数回与えると株が充実します。但し、肥料が多すぎると株が弱ったり枯れる原因にもなるので、与えすぎは十分注意してください。冬越し準備として、花の時期が終わったら12月までにすべての茎を地ぎわで切り詰め株の周りに藁や腐葉土などでマルチングしておくといよいでしょう。冬の間は地上部がない状態になりますが、地中では次のシーズンに向け根が育っています。鉢植えの場合は水を枯らさないように時々水をやりましょう。

さあ、あなたも夏に負けない元気なエキナセアを育ててみませんか。

（写真・文：村尾廣子相談員）



「花とみどりの相談所」の元気印、エキナセア

8月の花とみどりの講習会

【コケ玉を作ろう】

内容：ギボウシでコケ玉を作ります
日時：8月17日(土)10時から12時まで
場所：花とみどりの相談所
講師：花とみどりの相談所相談員
定員：小学3年生以上24人
費用：600円
持ち物：牛乳パック(1L)
申込：8月10日(土)9時15分から
先着順 電話可



画像はイメージです

相談所の見本園では、
ブルーベリーやトマト
などが実っています。
是非、見に来てください！



トマト



ブルーベリー



斑入りハイビスカス

夏の花が咲いています。
お気軽にお越しください！！

花とみどりの相談



<相談時間>

火曜日・木曜日の13時から16時30分まで

電話による相談も行っています。

《 8月の休所日 》毎週の日曜・月曜日と13日(火)です。

花とみどりに関する相談を受け付けて
しています。お気軽にどうぞ！

豊中市 花とみどりの相談所

〒561-0804 豊中市曾根南町1丁目4番1号(豊島公園内) 阪急宝塚線 曾根駅南 徒歩5分

TEL 06-6863-8439

FAX 06-6863-3638